

注目ポイント！

美観地区をはじめとする魅力的な観光資源を活かした観光地づくり。地域間結合による観光コングロマリットの構築を図り、倉敷観光を実現。市民と行政が連携し、観光振興を推進。

延べ外国人宿泊者数が着実に増加！約11,900人から約13,300人に。  
(平成13年) (平成17年)



倉敷美観地区

コラム

倉敷紡績(現クラボウ)に入社。その後、倉敷アイビースクエア取締役社長などを歴任、現在は倉敷アイビースクエア顧問。一方、倉敷観光コンベンションビューローの会長として、観光振興による地域の活性化に尽力し、倉敷ならではの産業観光の普及、美観地区の夜間景観照明の導入にも積極的に取り組んでいる。



(社)倉敷観光コンベンションビューロー  
会長 森 喬氏

これまでの経緯

- 昭和49年(1974) 倉敷アイビースクエアがオープンする。
- 昭和54年(1979) 倉敷美観地区が伝統的建造物群保存地区に選定される。倉敷美観地区は、江戸時代の天領の名残りをあちこちにとどめた、風情あふれる白壁の町。
- 平成14年(2002) 倉敷屏風祭りが復活開催される。
- 平成16年(2004) 倉敷市観光振興アクションプラン  
『観光都市「くらしき」の復活を目指して！  
～滞在型観光推進に向けた感動体験のまち「くらしき」づくり～』を策定。
- 平成17年(2005) 倉敷美観地区夜間景観照明事業を3カ年計画で実施。  
観光イベント開催、HPのリニューアル、外国人観光客接遇サービス研修等により外客誘致促進を図る(～平成18年)。

## 主な取り組み

### くらしき春宵あかり

平成17年度、倉敷観光コンベンションビューローが中心となり、和のあかりの代表「ろうそく」を使い、様々な角度から倉敷エリアを紹介。癒しの空間を演出し、外国人誘客促進のイベントとして実施。



くらしき春宵あかり

### 「倉敷屏風祭」

江戸時代から続いた祭りが明治になって中断したが、市民の声を受け、100年ぶりに復活。本町から東町にかけて約30軒で通りに面した格子戸を外し、自慢の屏風を飾り、花を生け、人々をもてなす。あたたかいもてなしの心を持った人づくりが市民レベルまで浸透。



倉敷屏風祭

### 日本の文化伝統体験コースの実施

倉敷の魅力を様々な角度から捉えてもらうため、「倉敷を体験する」「和を楽しむ」等の外国人向け体験プログラムを実施。外国人観光客が「和」の世界を堪能。



日本の文化伝統体験

### 美観地区夜間景観照明

倉敷川沿いエリアをメインに、夜間景観照明を実施。美しい町家や白壁の土蔵を心に響くやさしいあかりで浮かび上がらせ、夜の演出を実施し、滞在型観光へつなげている。



夜間景観照明

### 問い合わせ先

倉敷市経済局観光部観光企画課

Tel : 086 - 426 - 3411 <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kankou/>

(社)倉敷観光コンベンションビューロー

Tel : 086 - 421 - 0224 <http://kankou-kurashiki.jp/>